



ひなどり

園だより 2月号

令和2年2月3日

新潟市立新津第三幼稚園

毎月の誕生会と、私の宝物

園長 間嶋 哲

毎月の誕生会は、私が本当に楽しみにさせていただいている行事です。その一番は、何と云っても保護者の皆さんが、思い出の品々を見せてくださり、我が子について語ってくれることです。話を聞いていると、たいいて笑顔になったり、時には涙がこぼれそうになったりします。見せていただくモノは、みなさんにとって間違いなく宝物であり、それらは決して歳をとりませんが、親も子どもも成長し続けます。貴重な思い出を保護者ご自身に語っていただくあたりに、私は大きな価値を見出しています。その話を嬉しそうに聞く子どもたちの笑顔も、また素敵です。

さて、私の宝物を紹介します。小学校の校長室に飾ってある、下の絵です。



すでに十七年経過、二十三万kmを超えた私の相棒。今は大学生になった我が子が小さな頃に購入したので、様々なエピソード満載の車です。大きな駐車場に置いて、決して場所がわからなくなることがない大きなと色。まだまだ元気。長寿を目指します。

これは、ある男の子が、私の自家用車を描いてくれたものです。実は、私だけではなく、他の教職員の車も描いてもらっています。この描写力、素晴らしいと思いませんか。さらには、ひらがなはもちろん、なんと「ESTIMA」という英語も上手です。

先日の誕生会で、私が「十二支」の話をした後に、感想を聞きました。さらりと難しい言葉を使って感想を言ってくれた子どもがいました。語彙力が抱負なのだなあと、思わず感心しました。

子どもたちのこのような能力というのは、いかにして育まれるのでしょうか。私は、ゆったりとした気持ちの中で、様々な経験を上手にさせていくことに尽きるのではないかと考えています。

子育ては、長いマラソン。あせらず、目の前の子どもとの生活を楽しみましょう。